

黄道光観測地としての阿里山

本 田 實

私が去る9月初旬より約1ヶ月間阿里山上に滞在して、黄道光を観測した経験にもとずいて黄道光観測地としての阿里山を少し述べませう。

第1. 天候 阿里山の天候は非常にはつきりしてゐて、3月頃より9月頃までの6ヶ月乃至7ヶ月間が雨季で、あとの9月下旬頃より翌年の3月頃までが乾燥期だそうである。また1日の天候を云ひますと之も非常にはつきりと型にはまつてゐて、10時頃まで快晴の空がづき、そして其の頃より曇りはじめ12時頃濃霧が発生し、13時頃より20時乃至21時頃まで雨が続き、22時頃より晴又は快晴となつて翌日の10時頃までつゞく。之は非常によく型にはまつてゐることを述べたが、私の滞在してゐました9月1ヶ月間、午後になつて雨の降らない日は時々有つたが濃霧の発生しない日は1日だになかつた。だから1日中快晴と云ふ日は全然望めないのである。又この濃霧は乾燥期にも発生するそうである。

第2. 温度、湿度、気壓 第2には右様のことを述べてみると、温度は一口に云ふと夏は涼しく冬は暖かい所である。温度は最高が観測所がはじまつて以來、去る9月4日に22度5分に昇つたのが最高だと云ふから涼しさ推して知るべしである。それを他の地方の温度に當はめると、夏は樺太の温度に近く、冬は北九州位の気温に等しいと云ふ。避暑と避寒を1ヶ所でやれ得る所である。又湿度を云ふと之は雨季の間は非常に多く“100%”のこともあるそうである。それが乾燥期には“20%”から“10%”位に下るそうである。私の滞在中9月は、早曉たいてい“93%—95%”を示してゐた。

気壓は何分にも2400米の高山。約200耗低く570耗か台で計られてゐる。

第3. 9月の黄道光の明るさ 西天は悪天候にさまたげられて4回の観測しか出来なかつたが、大體白鳥銀河位の明るさを持つてゐた。東天は快晴に恵れて12回の観測を行つたが AURIGA 銀河の4倍半位の明るさだつた。光帯は之も明るく且つ幅廣く AURIGA 銀河位の明るさだつた。こう云へば御経験の

有るお方は想像がつくと思ひます。

第4. 観測地点及び地形 観測地点は高山観測所の屋上を使ふのが一番いい。私は始終こゝで観測した。東天は新高山が3度位の高さにそびへてゐる。又西天の方は、はるかに臺灣海峡がみえて水平線が見える。だから空は非常に廣いのである。

第5. 交通及び通信 交通は總督府營林所經營の登山鐵道が毎日上下1回づゝ下の平野を往來してゐる。所用時間約6時間半。通信の方は郵便局があつて一切の事務を取つてゐるから便利である。又郵便局観測所専用の電話もある。

第6. 結論 天候の點に於て雨期に西天の観測が出来ないきらひがあるが、黄道光の観測地としては私は日本一だと思ふ。

黄道光の観測所が具體化したならば、乾燥期の間だけ誰かこゝに出張観測をするべきだと思ふ。9月より翌年の3月まで出張観測をしたならば必ず收穫は多いと思ふ。観測所はガラガラ明いてゐる部室が多いし、又全然明いてゐる一棟の宿舍もある。6疊2間の炊事場までついた氣持良い部屋だつた。行つたならばこんな部室を利用したらいいと思ふ。このことは京都で山本先生に再三申上ておきました。

この阿里山に住んでゐる人は大部分が本島人であるが、又内地人も多く、日用品等は賣店も2、3あるが殆ど全部購買組合が取扱つてゐる。

所謂山間僻地ではあるが、ネオンの光りを思出さないならば、非常に靜かな別天地である。そして物凄いまでに澄んだ空に夜毎に黄道光は美しい姿を現すのだ。黄道光観測所の出張所が阿里山上に出来る日を1日も早かれと祈るものである。以上

夏 日 慢 吟

漁歌斷續綠葭灣

隱見水村青柳間

日落長汀歸櫓緩

一痕新月在江山

供 一 粲

神戸市關守畔 改發香場